

1. 地域防災計画修正の背景

- 最近の災害対応の教訓や施策の進展等を踏まえ、令和5年5月に国の防災基本計画が修正された。それに伴い、本市地域防災計画も修正が必要である。
- 本市の計画策定の基礎とする、地震被害想定（平成24年度実施）から10年が経過しており、この間に各種防災・減災の取組みが進んでいることや、市内の宅地・人口等の検討条件が変化していることを踏まえ、新たに地震被害想定を見直し、その結果を計画に反映させる必要がある。
- 水害について、想定最大規模における河川氾濫等の避難検討に加え、より発生確率の高い計画規模等についても検討を進め、災害規模に合わせた適切な対応が取れるよう体制を整備することが必要である。

2. 主な修正内容

1 地震被害想定の見直し

- 現在の地震被害想定（平成24年度実施）以降、緊急輸送道路沿道建築物や住宅の耐震化率の向上、木造密集地域の改善による不燃化の推進等、防災力の強化を推進する各種対策の取組により減災の効果が確実に現れている状況に加えて、最新の人口や建物情報等を用いて被害想定の見直しを行った。

【主な被害想定見直し項目】

- 建物被害（揺れ、液状化、土砂災害）
- 人的被害（建物倒壊、火災）
★火災による被害は、季節・時間帯別で延焼クラスターを加味して算定
- 避難者数（発災直後、1週間後、1か月後）
- ライフライン被害（上下水道、電力、ガス、通信）

2 防災基本計画の修正に伴う見直し

- 令和5年5月の防災基本計画修正に伴う見直しを行った。

【主な修正内容】

- 災害ボランティアセンター設置検討場所の明確化（共通-40）
- 要援護者への多様な情報伝達手段の確保（共通-44）
- 災害ケースマネジメントなどの被災者支援の仕組みの整備（共通-125、復旧復興-7）
- 被災者台帳の整備におけるデジタル技術の積極活用（共通-125）

3. 関連計画の修正等

1 関連計画の修正

- 地震被害想定の見直しに伴い、「吹田市備蓄計画」の修正を予定（3月）。
- 「吹田市業務継続計画」、「吹田市受援計画」、「吹田市避難情報等の判断・伝達マニュアル」の次年度以降の見直しを見据え、地震被害想定等の結果から見直しに必要な情報を整理。

3 吹田市独自の課題に合わせた見直し

- 災害対策本部における危機管理室の位置づけをより現実に即した形に変更した。
- 令和6年4月の組織改正（予定）やヒアリングの意見を踏まえて、各部が有事の際に迅速に行動できるよう見直しを行った。

【主な修正内容】

- 危機管理室を災害対策本部の参謀として位置づけ、全体を整理（共通-79、82）
- 平時の部名称との混同を避けるため、市民部を「生活支援部」に変更（共通-84他）
- 組織改正による名称変更や事務分掌の見直し（共通-82～86）
（行政経営部、税務部、児童部、健康医療部）
- 吹田市地域緊急交通路の見直し（地震マ-77）

4 水害時の避難検討

- 令和5年12月の安威川ダム完成による最新の浸水想定区域をもとに、想定最大規模及びより発生確率の高い計画規模における河川氾濫等の避難検討を行い、指定避難所の収容性の分析を行った。

【主な検討事項】

- 安威川ダム完成後の新浸水想定区域を元にした水害時要避難者数の推計を行い、想定最大規模（1,000年規模）に加え、より発生確率の高い計画規模（100年規模）でも避難所の収容能力を分析
- 避難所収容可否を施設の種類（小学校・中学校・公民館等その他施設）による開設パターン別で検討・分析

2 市民啓発動画のリニューアル

- 新たな地震被害想定をもとに、市民への地震に対する防災意識向上に資する啓発動画をリニューアル⇒令和6年3月公開予定